

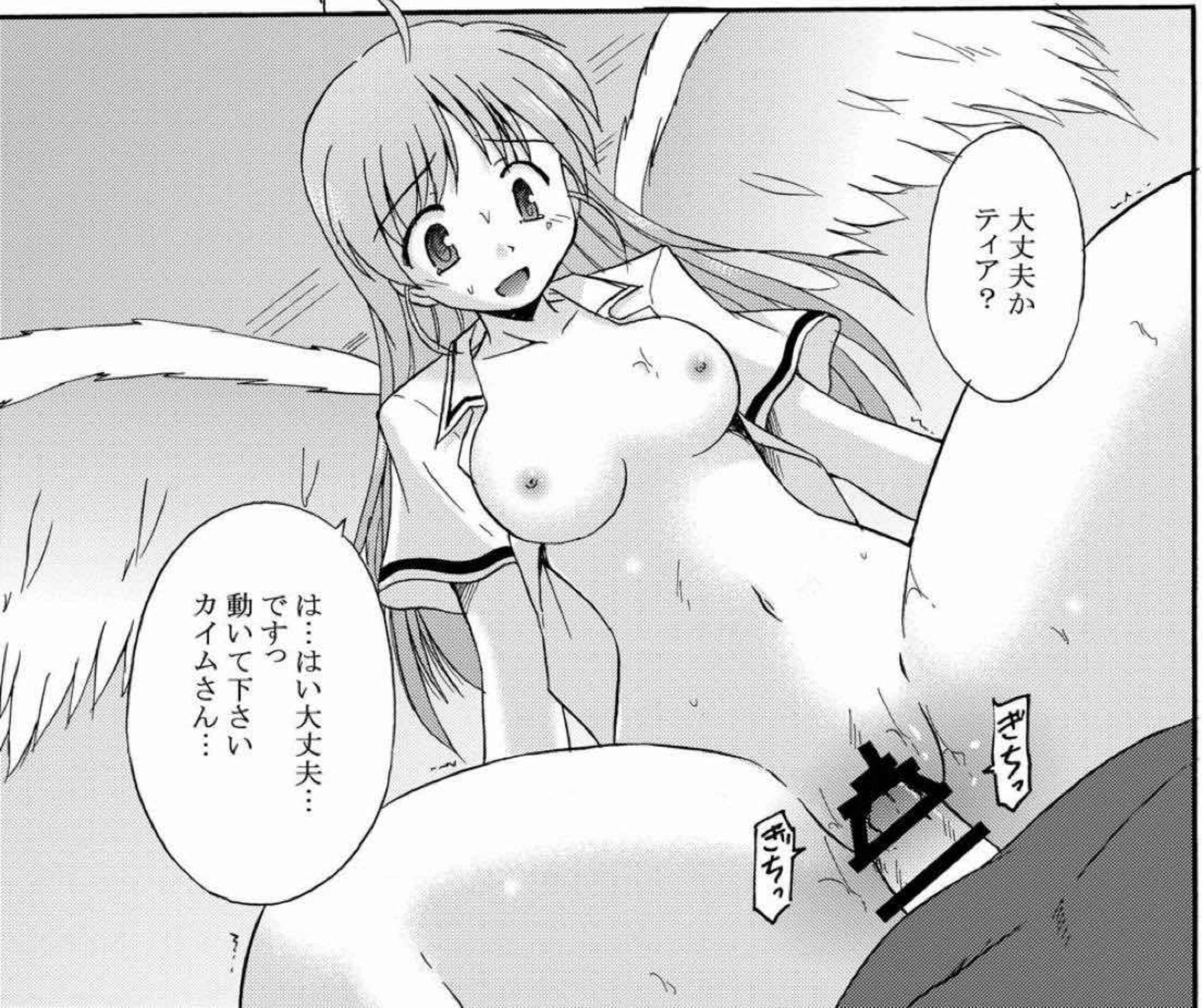
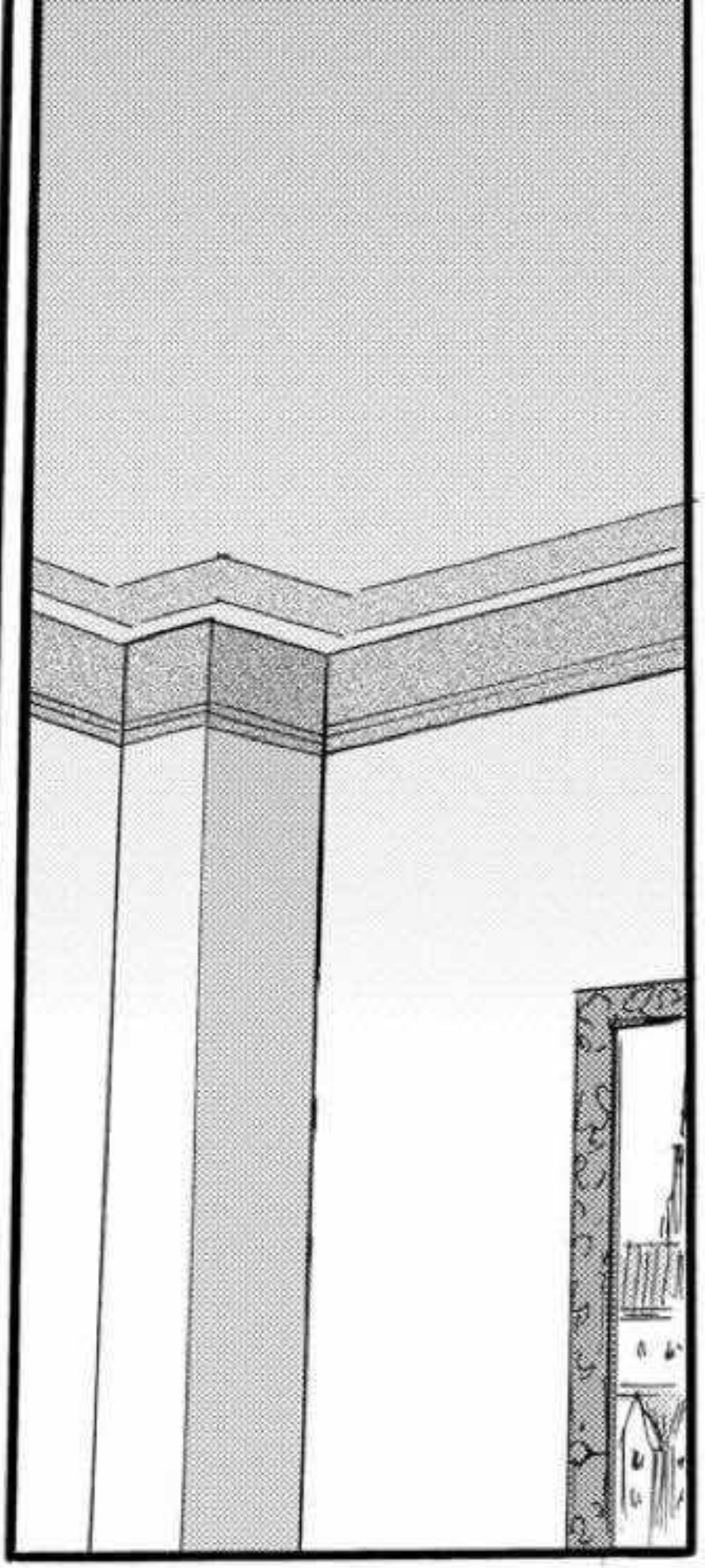
R-18
For Adult Only



機翼のユースティア FANBOOK

LIFT THE WINGS

Cool Palace August 2011





痛いかな？
ティアア…



だ、大丈夫です
これくらい
研究に比べたらっ



ギニッ

ギニッ

んっんっん

んっんっん

ギニッ

ギニッ

ぎゅっ

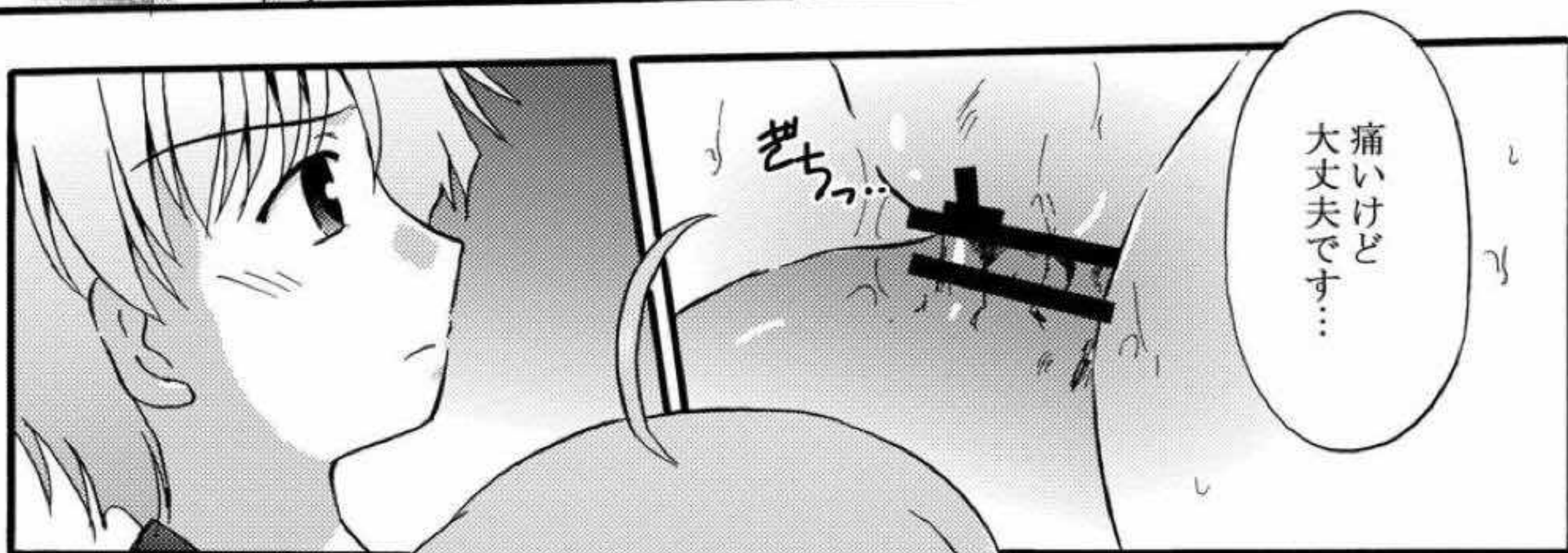
ぎゅっ

ギニッ



やっぱり
研究は辛いかな？

え、あっ
平気っ
平気ですよっ!?





カイクムさん

ティアア...



...わかった

出来るだけ
優しくしてやる...



んんっ...

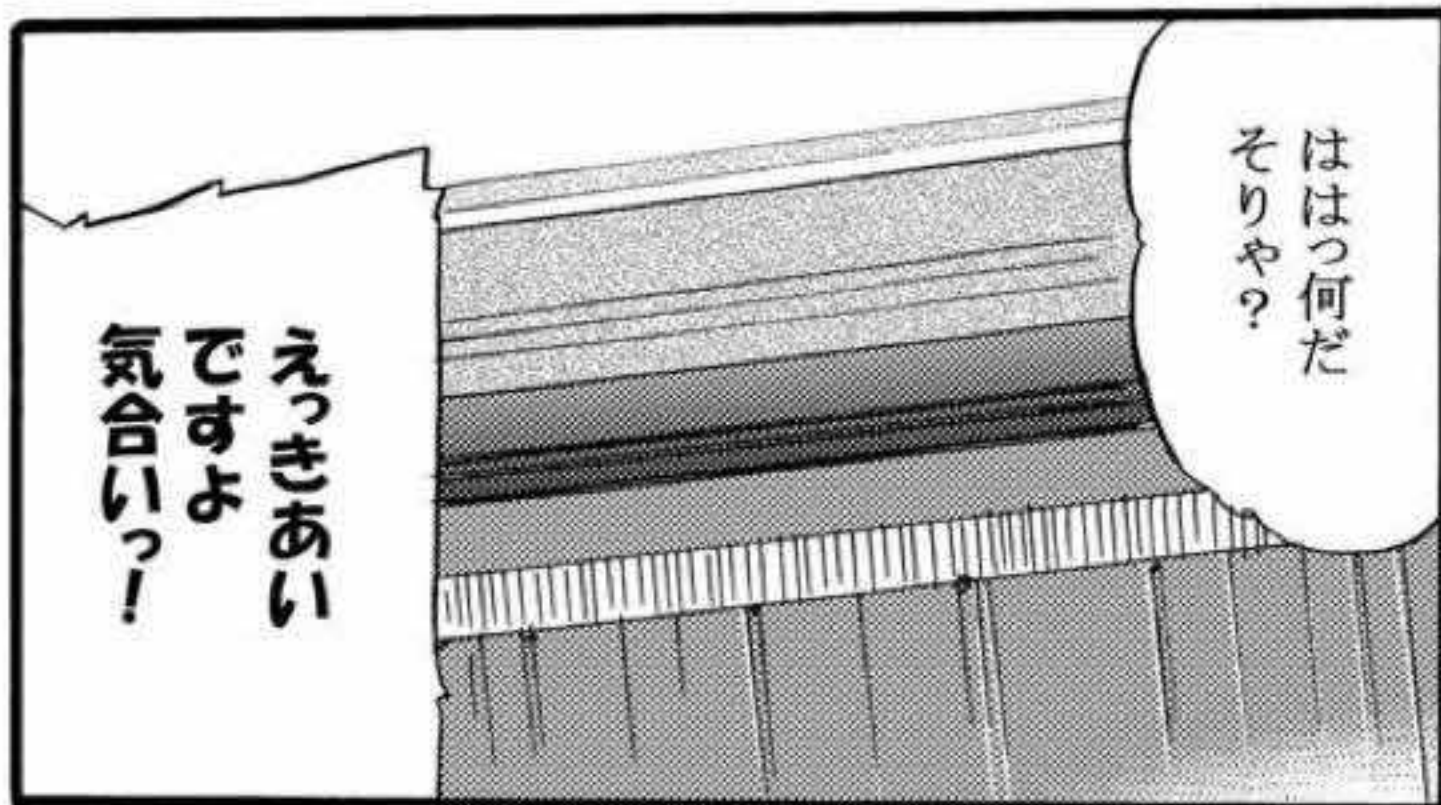
は...

あ...



じゃ少しずつ
動かすぞ

は...はいっ
どんと来い
ですっ!



ははっ何だ
そりや?

えっきあい
ですよ
気合いっ!



凄い...好きな人との
キスって気持ち良い
ですね...

痛みが和らいで
来た気がします



まあいいか
ほら行くぞ
ティアッ

あっ…
はあッ

あ、もう
ほとんど
痛くない…



感じてきたな
もう少し強く
するぞッ

は…はッ

やっやっ



ひゃッ!

ブチュッ

ブチュッ

ああんッ!

替わりに
だんだん熱く
なってきた…

あんッ

あッ

やッ







いくぞテイア
出すぞっ！

はいつ…中に
中に下さいっ
カイルさんの
わたしの中につ…



テイアっ!!

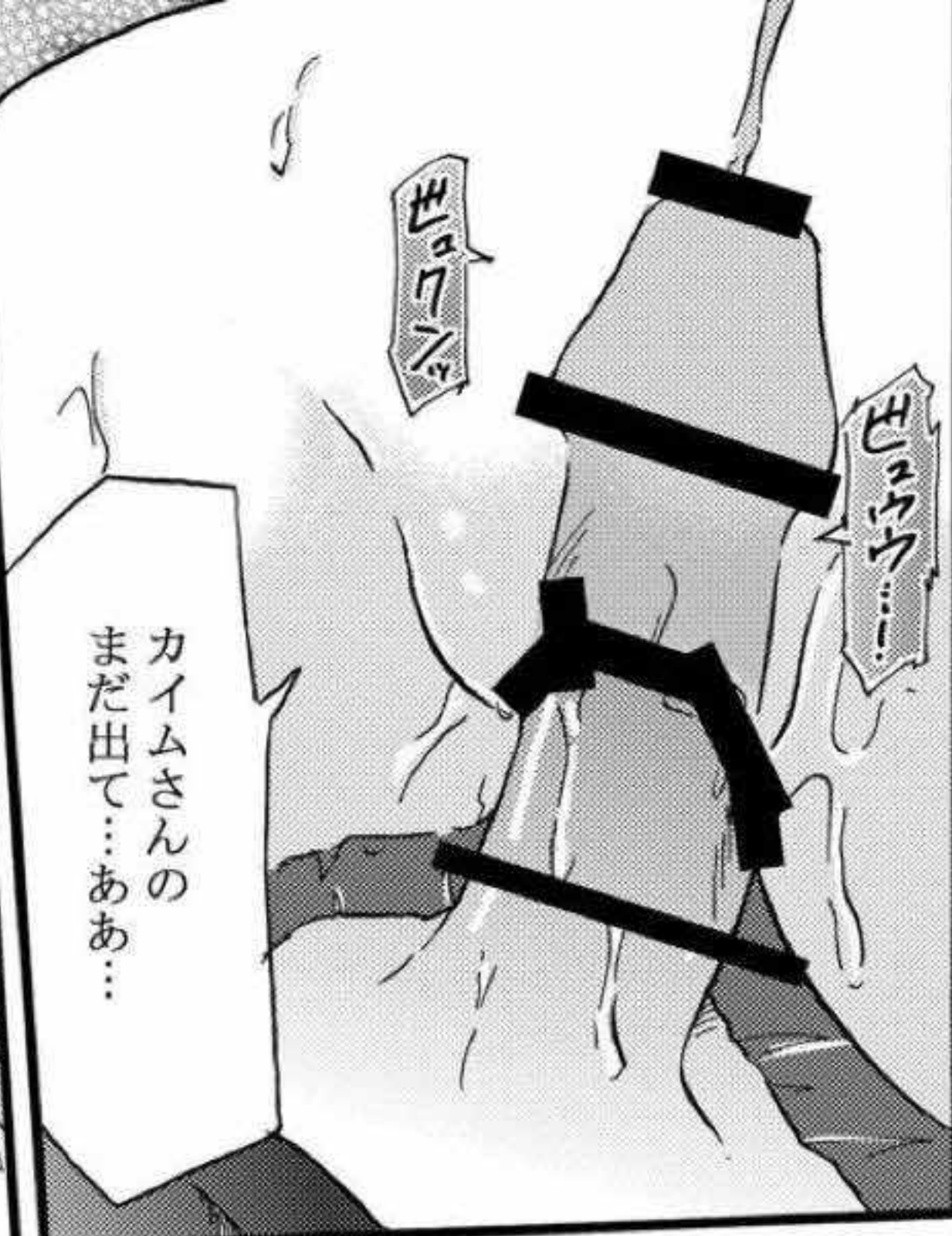
あっ…カイル…
さ…んっ…

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド







あつ…そこ凄いつ…
ですっ頭の中ビリビリ
言つて…っ

あつあつ

あつ



ひゃうっ!!

どきゅ

どきゅん



あつ

あ…

すっ

すっ



う…くっ
いくぞテイアっ



は…はいっ

また出して下さいっ
カイルさんのが
欲しいですっ!



あつ

うあつ

ひゅっ

どきゅ

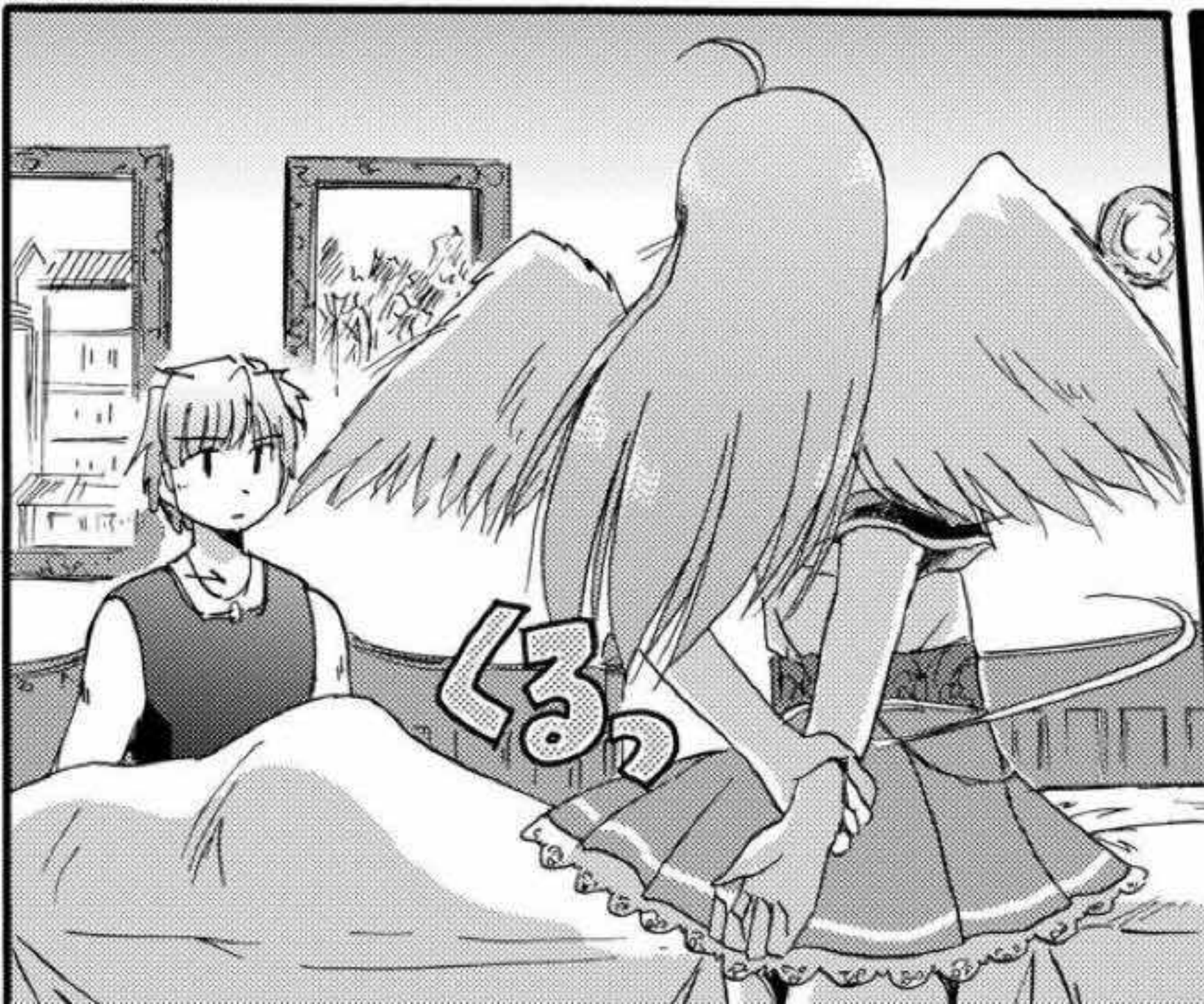
どきゅ

どきゅ

どきゅ










わたしカイクさんが
大好きですっ




カイクさんの
判断が正しいのは
みんな知ってます…



だからご自分を
責めないで下さいっ

だから守りたい
んです！



そうだ俺の
判断は正しい…
だがなんだ
この違和感は…？

正しいならば
何故自分を責める
必要があるんだ
!?

いやそんな事は
わかってる
ティアを犠牲に
するからだっ

だがティアが
死ぬ事は正しい
事なんだっ

俺は今何を
考えた...?



ティアが死ぬのが
正しい事だと...?
そんな...



なんだって...?


な...



そんな
バカな話が
あるかつ!?

カイク
さんっ!?






俺を取るか
ノーヴァス・アイテルを
取るかだ
簡単な計算だろうか？

ティアが
ここで俺を殺す
のも正しい事の
はずだ!!



そんな…
出来ませんっ

出来る訳ない
じゃないですか…っ



俺を殺さなければ
みんな死ぬぞ
それでもいいのか
？

出来ま
せん!!



どうして…
どうしてそんな事
言うんですか？

わたしが守りたいのは
カイクさんなんです
カイクさんのいる
ノーヴァス・アイテル
なんですよ…っ



…俺も
同じだ！



今ここでお前を
行かせると言うのは
つまりお前を
殺す事だ

お前に俺が
殺せない様に
俺にもお前は
殺せない…



えっ…？



やっとわかった…
俺はティアを犠牲に
してまで生きたく
はないっ

俺にとつて
一番大切なのは
お前なんだ！



だから最期
まで俺の側に
居てくれっ!!

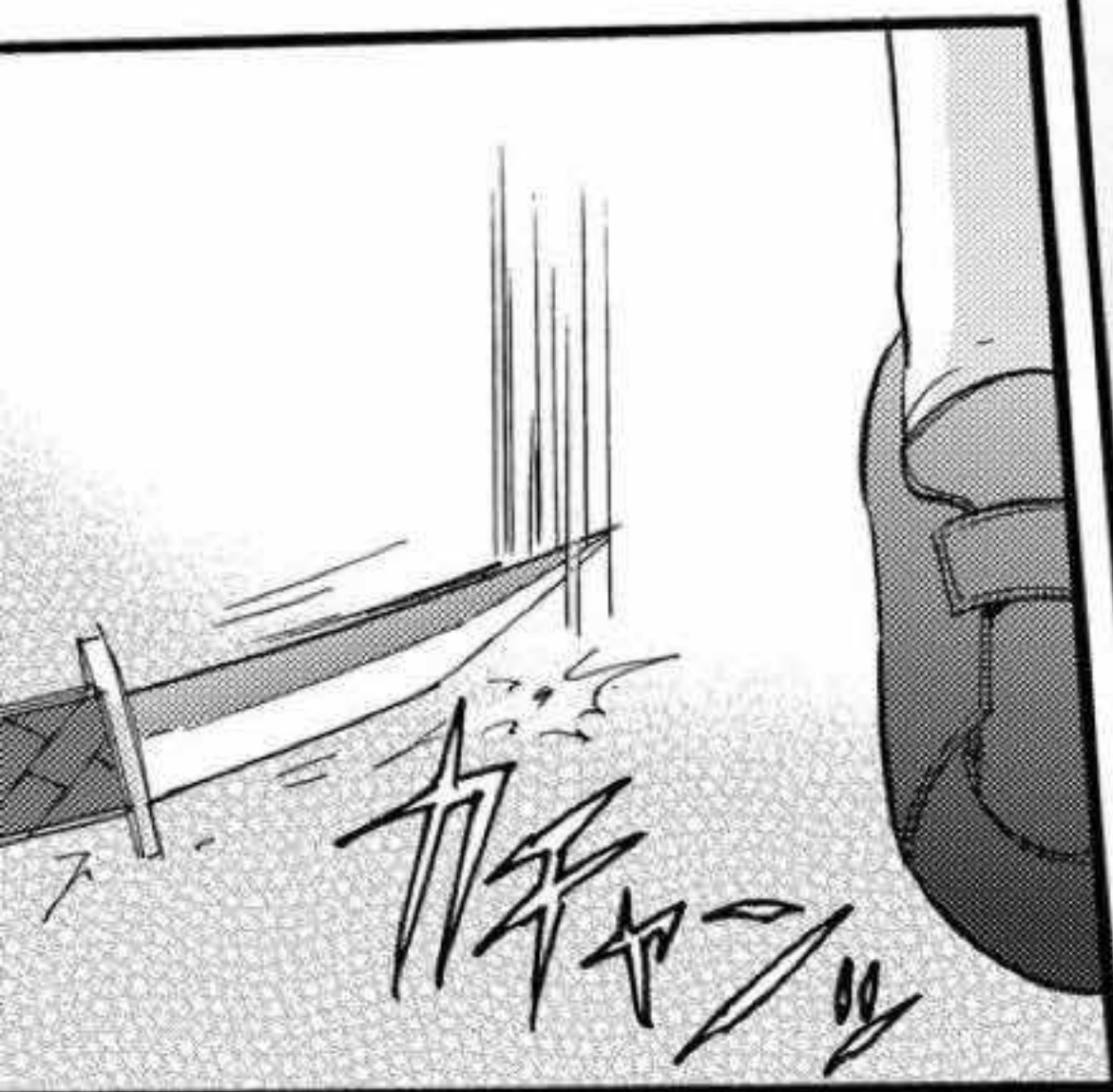
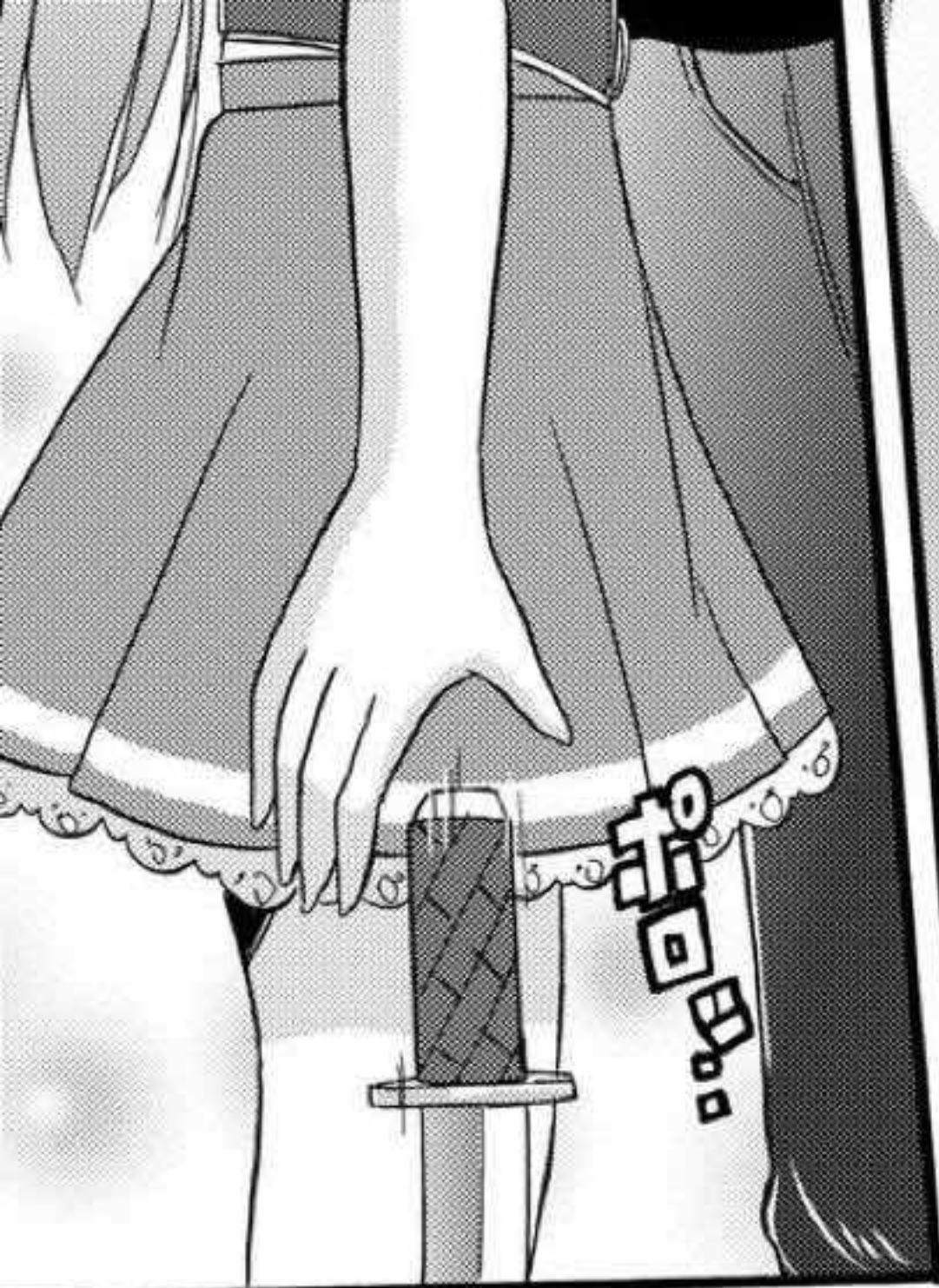
カイクさん



言っただろ
行きたければ
俺を殺せ…

このままじゃ
みんなが…

でもっ
でもっ…



カイクさん
わたしは悪い
人間です…

わたし本当は
ずっとカイクさんに
止めて欲しかった…



俺はもう

死ぬまで
お前を離さ
ないっ



みんな
死んじゃうって
わかってるのにっ

それでもカイクさんを
忘れたくないっ
一緒に居たいって
思っていたんですっ！



他の奴らには
後で俺から謝って
おくから心配
するなっ



良く今まで
我慢したな

大丈夫
止めたのは俺だ
お前は何も
悪くないっ



まっルキウスが
他の方法でも
探して何とか
してくれるのが
一番良いけどなっ

！



とにかく早く逃げるぞ

ダメですっ



待て待てっ
今のは冗談だっ

そんな方法ある訳ないだろう!?



そ、それです
カイクムさんっ!!

それ?



ルキウスさんに頼んで他の方法を探してもらいましようっ!



ダメだ
危険すぎる

いざとなればあいつは力づくでも研究を続けようとするはずだっ




わたしが逃げたらルキウスさんはわたしを探しますっ

そんな無駄な時間使わせるよりずっと良いはずです!




それでもですっ…




自分のわがままで
世界を危険に
さらすのに
ただ逃げるなんて
出来ません

少しでも可能性が
あるならやる
べきです！



お前の気持ちは
わかる！
だがそんな話は
通じないっ

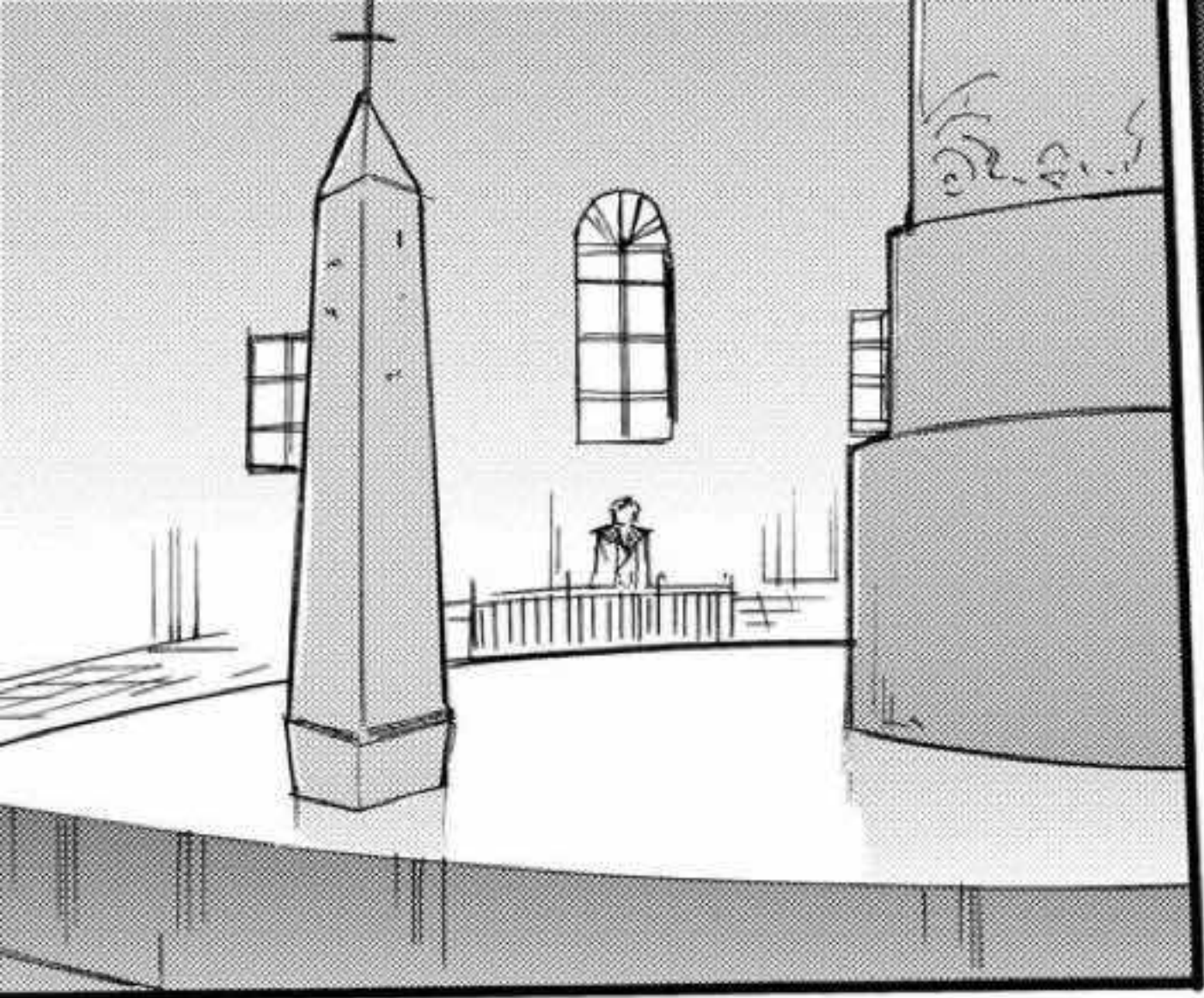
あいつは一番
可能性の高い
方法をとるっ
ただそれだけだ！



それなら
わたしを使う意味が
無くなれば良いん
です！

何っ？

お願いがあります
カイクさん…



もうほとんど
時間がない…

多少強引な手を
使っても
ティア君を覚醒
させるしか…



カイクム!

ここにいたか
ルキウス





こんな所まで来て
一体どうしたんだ
ティア君の体調が
悪くなったのか…？

ティアがお前に
話があるという
から連れてきた



はい…降ろして
下さい…

ティア



何？



だから他の方法で
世界を救って下さいっ

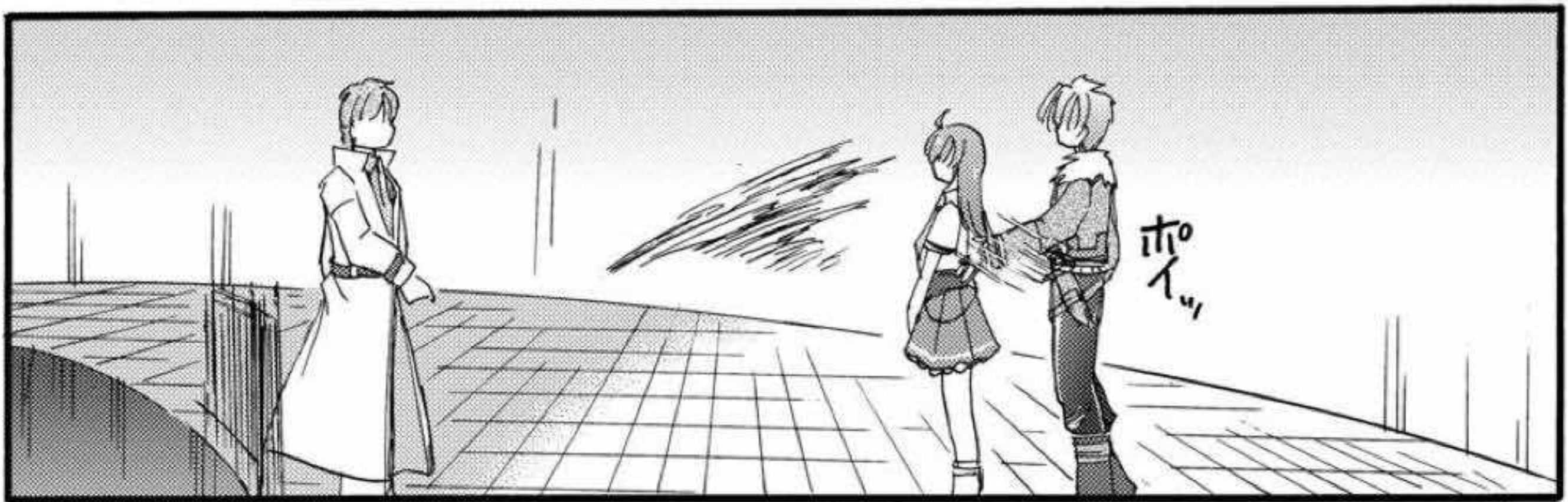
わたしはもう…
研究には協力
しません…



ルキウス
さん…

は…

は…







これが俺達の
答えだ！

……



随分と勝手な
言い草だな…



早くちゃんと
した医者に
診せたいんでな

そう言う訳
なんでな
ティアは連れて
いくぞ



研究は続行だ
ティア君は
ここに置いていけ


さつきも言ったが
この世界を救う
他の方法など無いっ



決まっているっ
力づくで返して
もらうまでっ

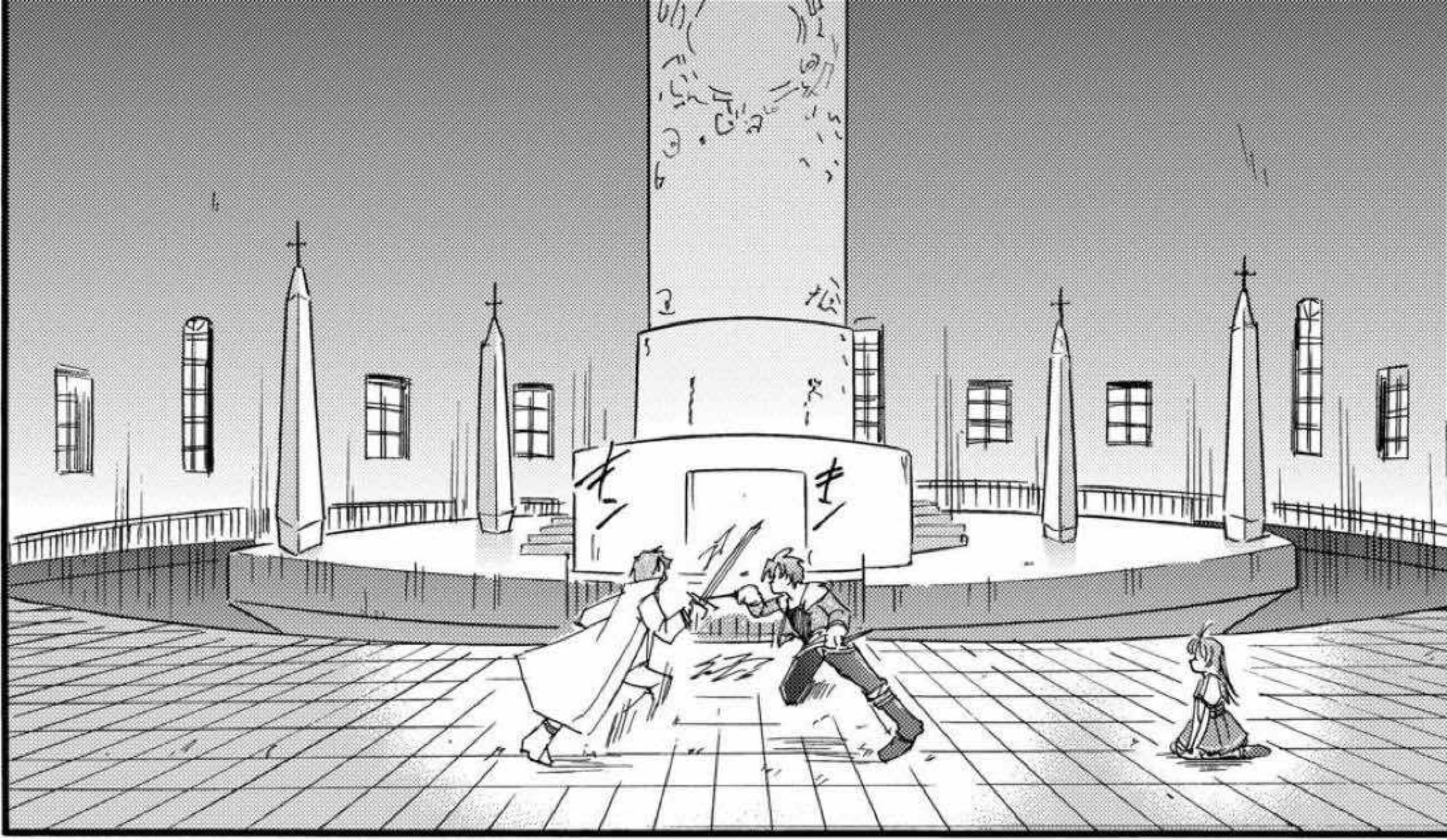


断ると
言ったら？



その名前で
私を呼ぶなっ
!

やはりお前とは戦う
運命だったのかもな…
決着を付けてやる
アイム!





私はこの国の
全てを背負って
いるのだっ…

私はここに来る前に
政変を起こし
この国の全権を
掌握した…

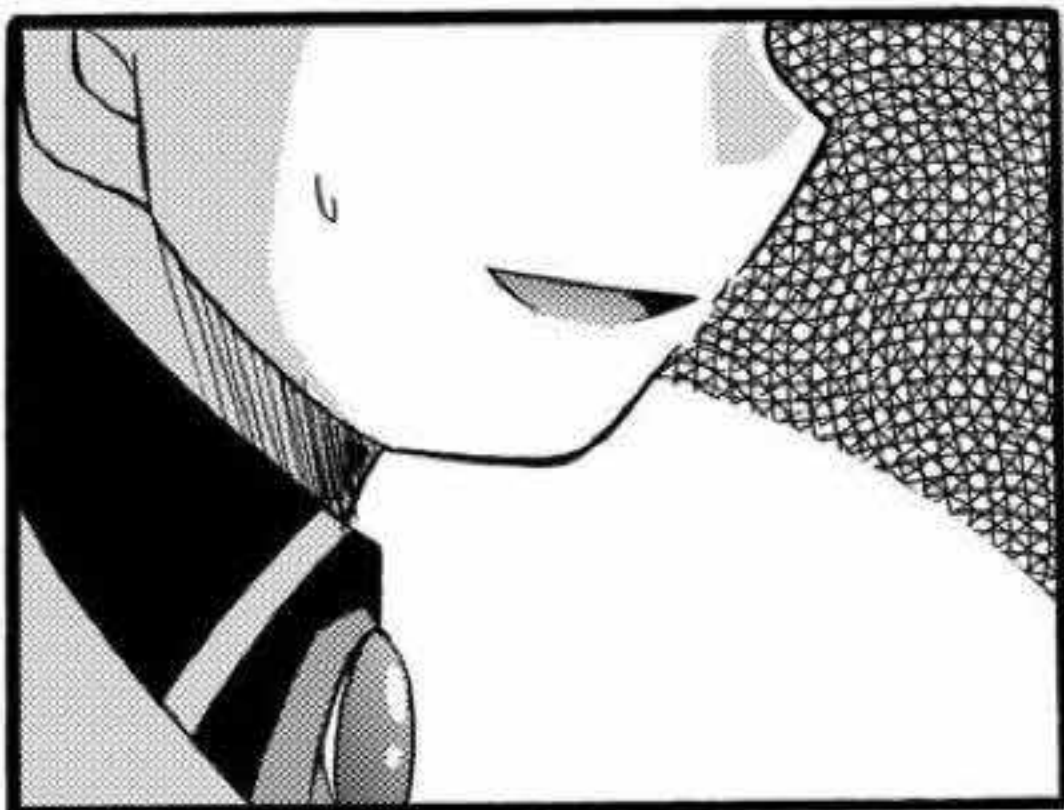


…カイクムさん



待てっ！

行くぞ
ティア



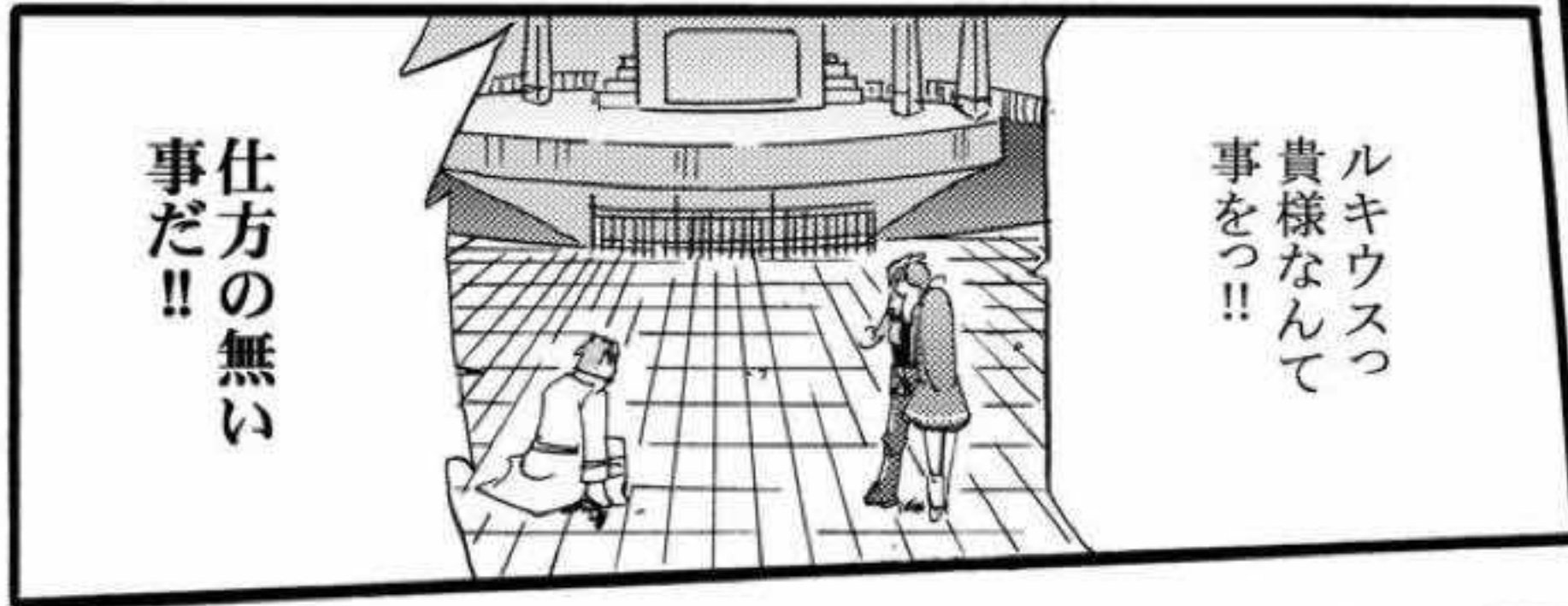
な…なんだと
リシアは…

リシアは
どうした!?



死んで
頂いたよ…

反乱軍に降伏する
などと言いだした
のでな…



仕方の無い
事だ!!

ルキウスっ
貴様なんて
事をつ!!



...

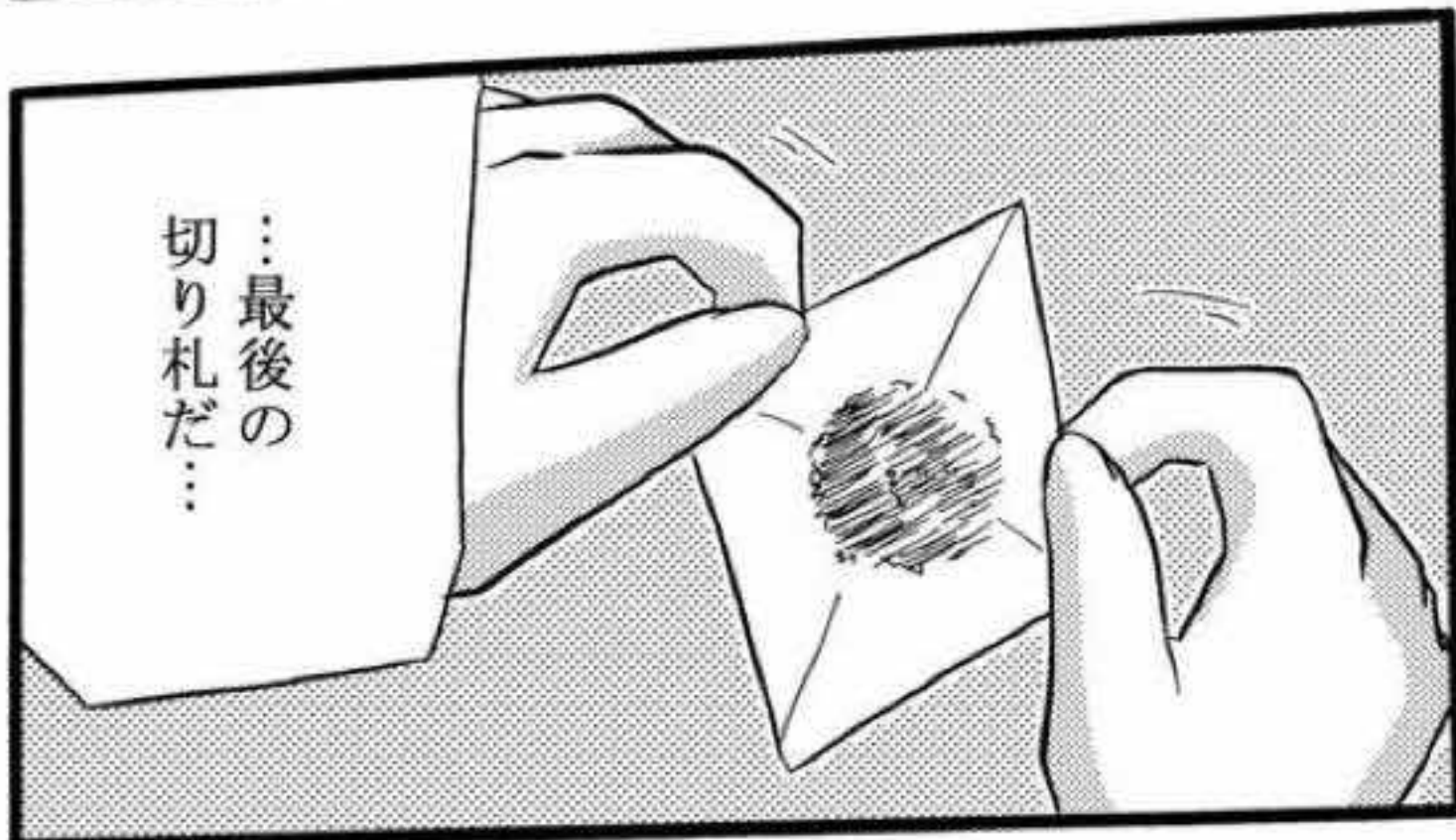


一人や二人の命で
何万もの命が
救われるのだ!

私は間違った事など
していない!!



そしてそれは
私の命とて
例外ではない...



最後の
切り札だ...



サッ
サッ



お...おい
ルキウス
まさかそれは



そ…そんな
まさか…

死ぬ気か
ルキウス
…？



私に万一の事が
あっても
システイナが指揮を
取れるようにしてある
…

何の問題も
無いっ…

ここで一番
問題なのは…



な…っ



!?



カイク
さん!!

ぐあああ



甘く見て
いたっ…!!

しまった…
まさかコイツが
命を賭けて
くるとは…

我々がティア君を
失ってしまう事だっ







ふふ…この国にも
私にも残された
時間は少ないようだ
…

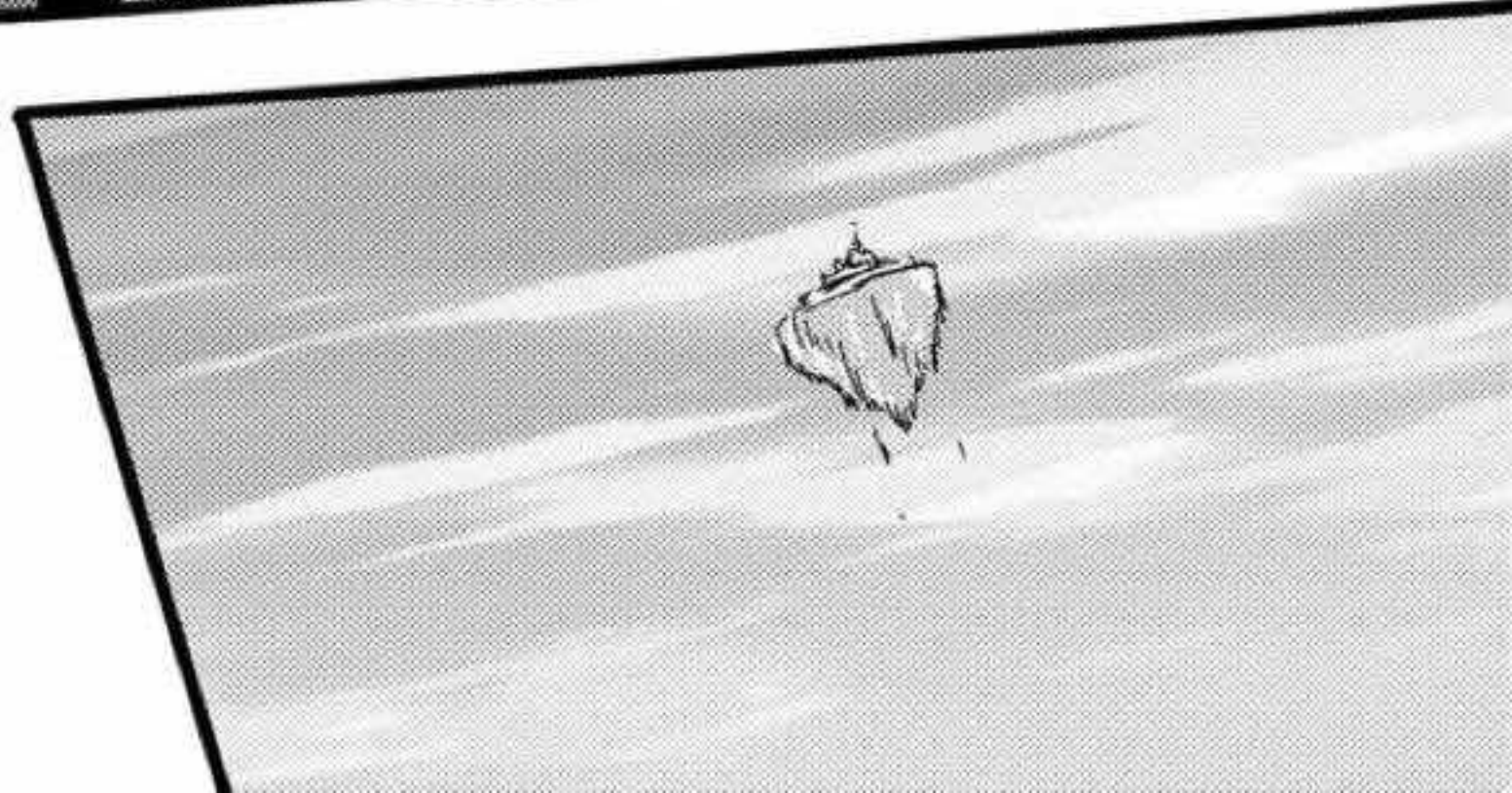
ゴブッ

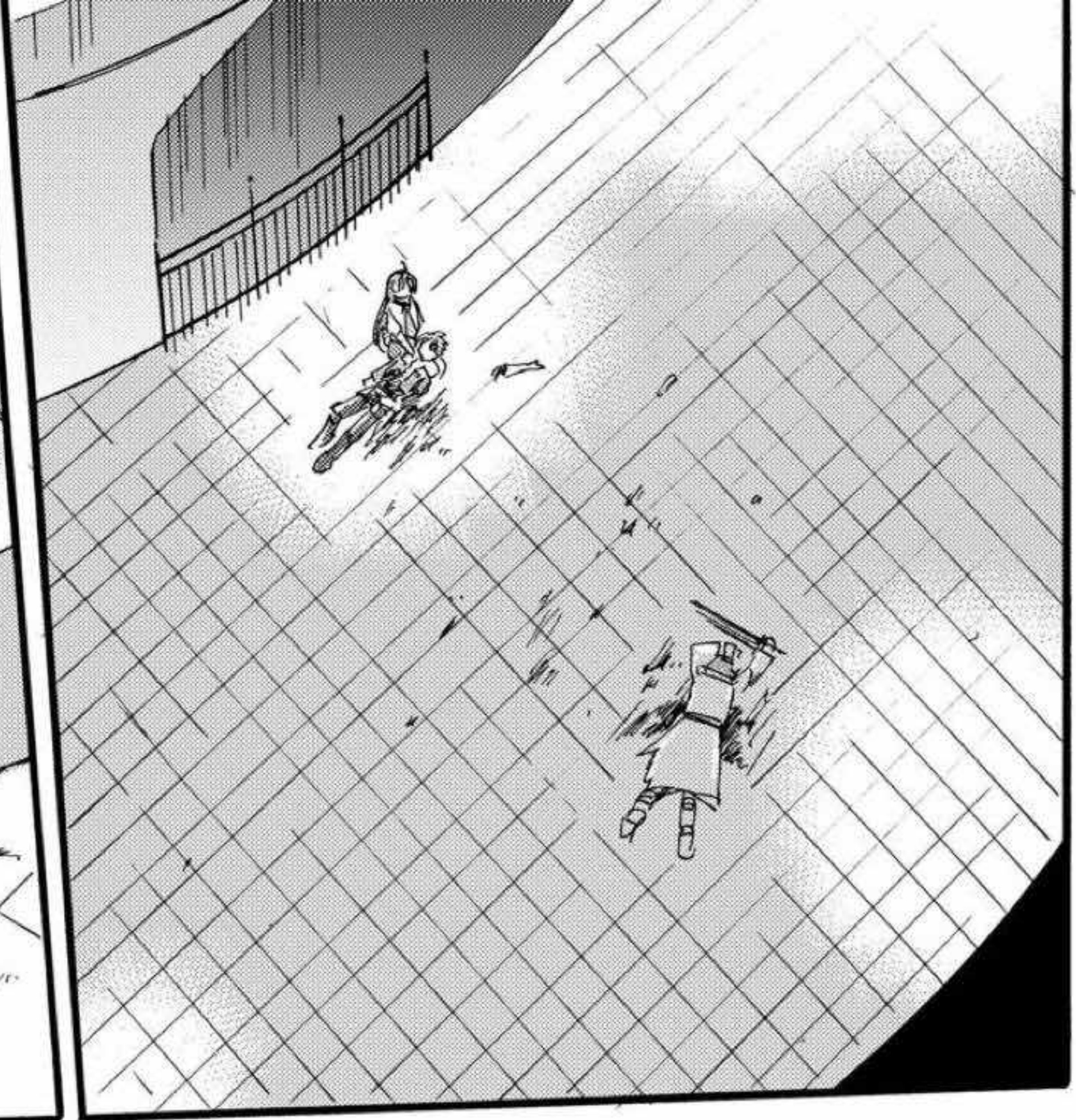


ティア君を
返してもらおうぞ
カイクム!!



させる
かよっ!!







そ、そんなっ
あれはわたしが…

俺の方こそ
羽切つちまって
悪かったな…
まだ痛むだろ？

ポポポ



気にするな
ただ逃げ回る
よりずっと
良かったさ…



もう泣くな
お前は
笑ってる方が
良い…

最後に
お前の笑顔
見せてくれない
か…？



えっ…！



メ…！

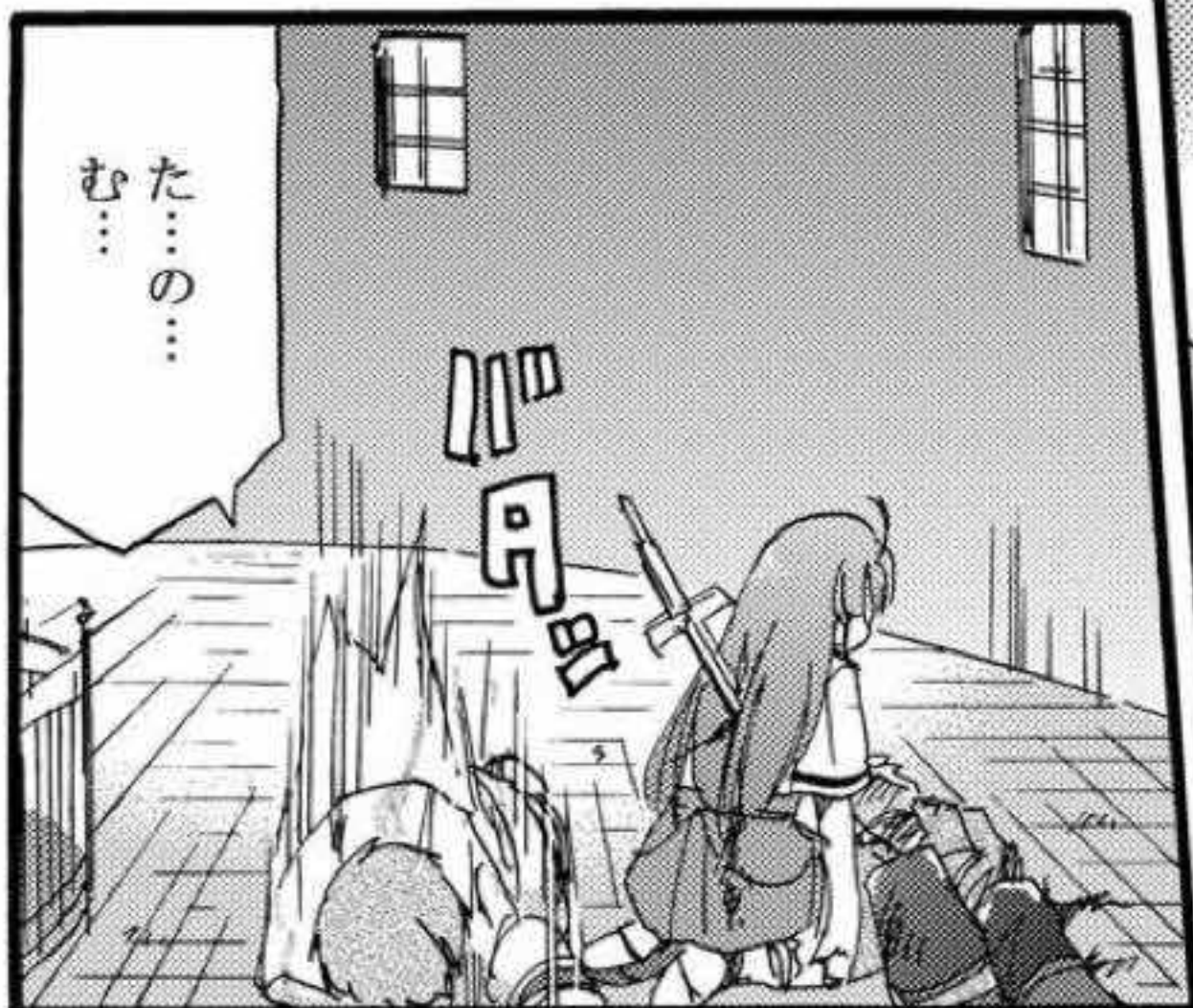


最後まで守って
やれなくて
すまないな…



ダメダメです
カイクさんっ
まだ死んじや
ダ…





た…の…
む…



覚醒してくれ
ティア君…

そしてノーヴァス・
アイテルを救って
くれ…



ティアっ
しっかりしろっ！

ティア
ー！！



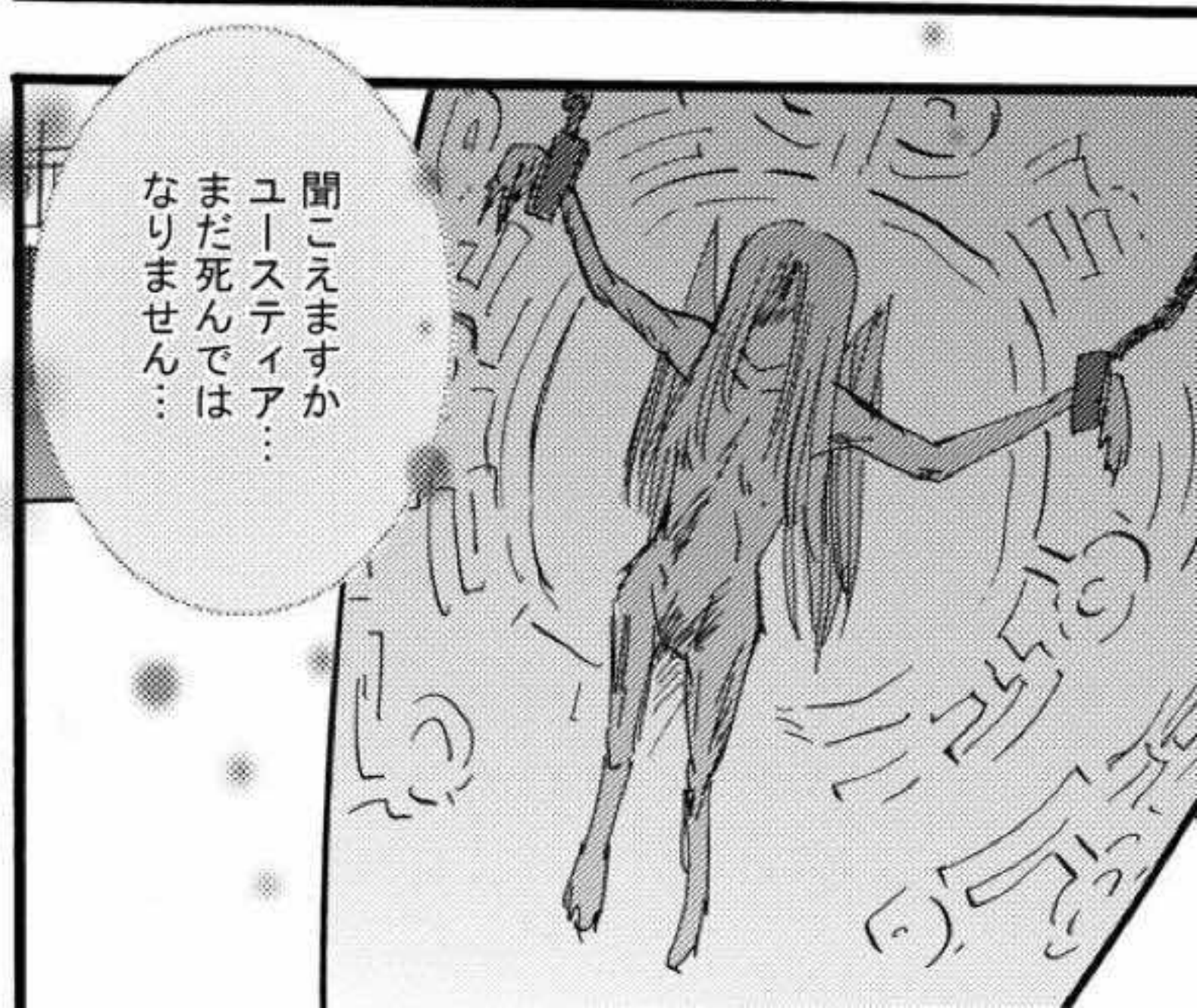
あなたには
まだやることが
あります…

今こそ覚醒するの
です…そして
私の替わりに…



…スティア…
ユースティア…

ピクッ



聞こえますか
ユースティア…
まだ死んでは
なりません…



人間達に
復讐を！

ただ殺す
だけでなく
地獄の苦しみを
与えるのです！



えーつと
お断り
しますっ！



だ、誰と会話
してるんだ
ティア…？

あ、聞いて下さい
カイクさんっ
わたしの生まれた
意味がわかったんです！



な、何を言ってる
いるのですか
ユースティア!?

ですから嫌です
お断りします！



なんと
聞いてビックリ！
天使様の替わりに

人間に復讐
するため
だったのです！



は…？
こんな時に
何を言ってる
んだ？

冗談を言ってる
場合じゃない
だろう…？



殺す事だった
なんて…

やっとわかった使命が
人間を…カイクさんや
わたしの大切な人達を…

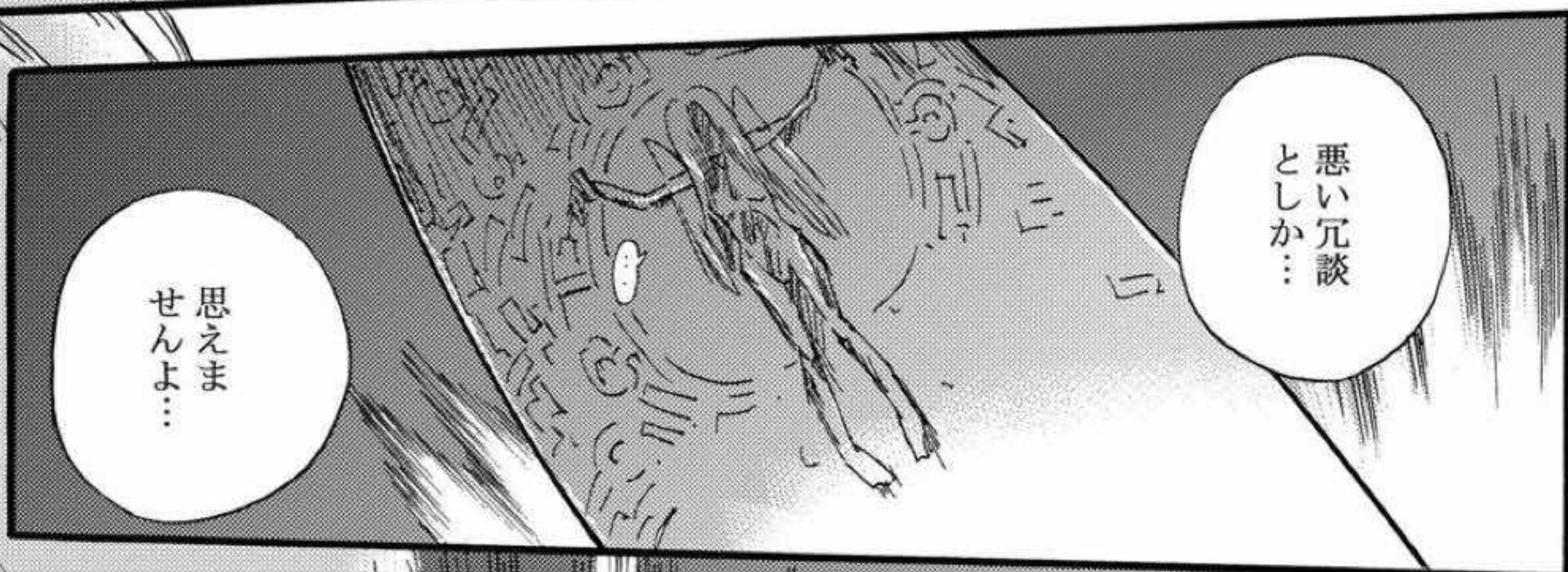


ホントに
冗談みたいな
話ですよ…



それを頼りに
今まで生きて来た
つていうのに…

ずっとわたしには
使命があるって
言われて…



思えま
せんよ…

悪い冗談
としか…



わたしやつぱり
ここで一緒に
死ぬ事は出来
ません…

ごめんなさい
カイクさん…



ティア…



正直研究には
仕方なく協力
してた部分も
ありました…

心の奥では
カイクさんに
助けて欲しい…
一緒にいたいって
思ってたんです



だからカイクさんが
わたしを止めてくれて

死ぬまで離さない
って言ってくれて…

いけない事なのに
わたしとても
嬉しかった…



だから今なら
心から言えます…

義務でもなく…
使命でもなく…



そして…

命懸けで
わたしを守って
くれた…



ティア…
もう良いっ…

もう良い
んだ…!!

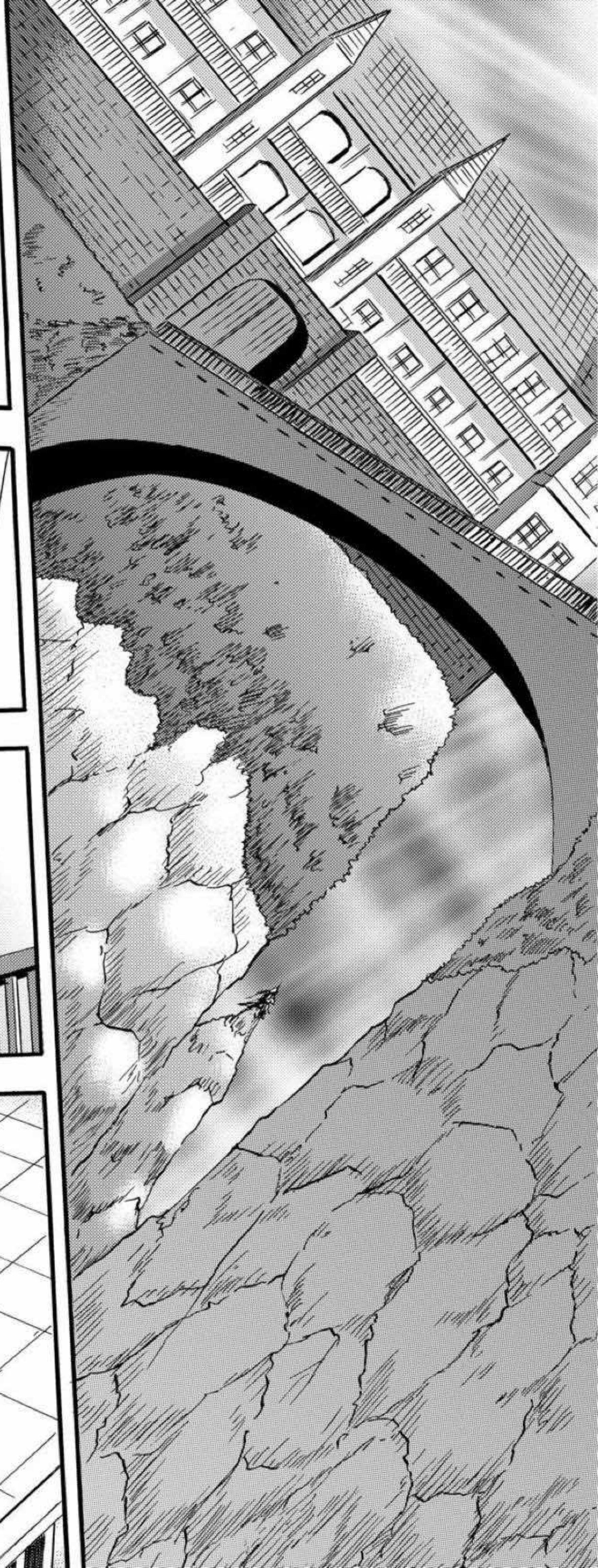
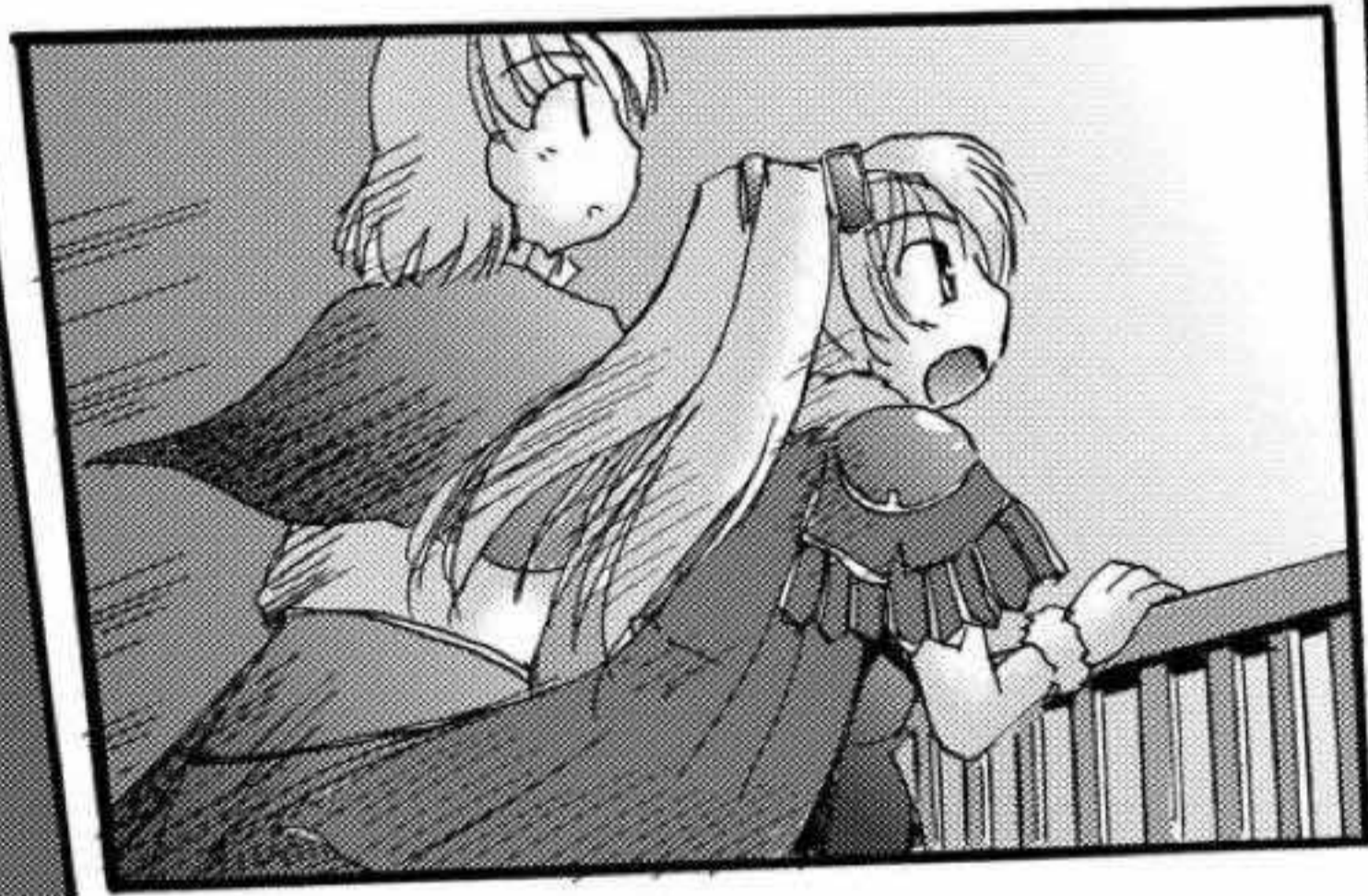
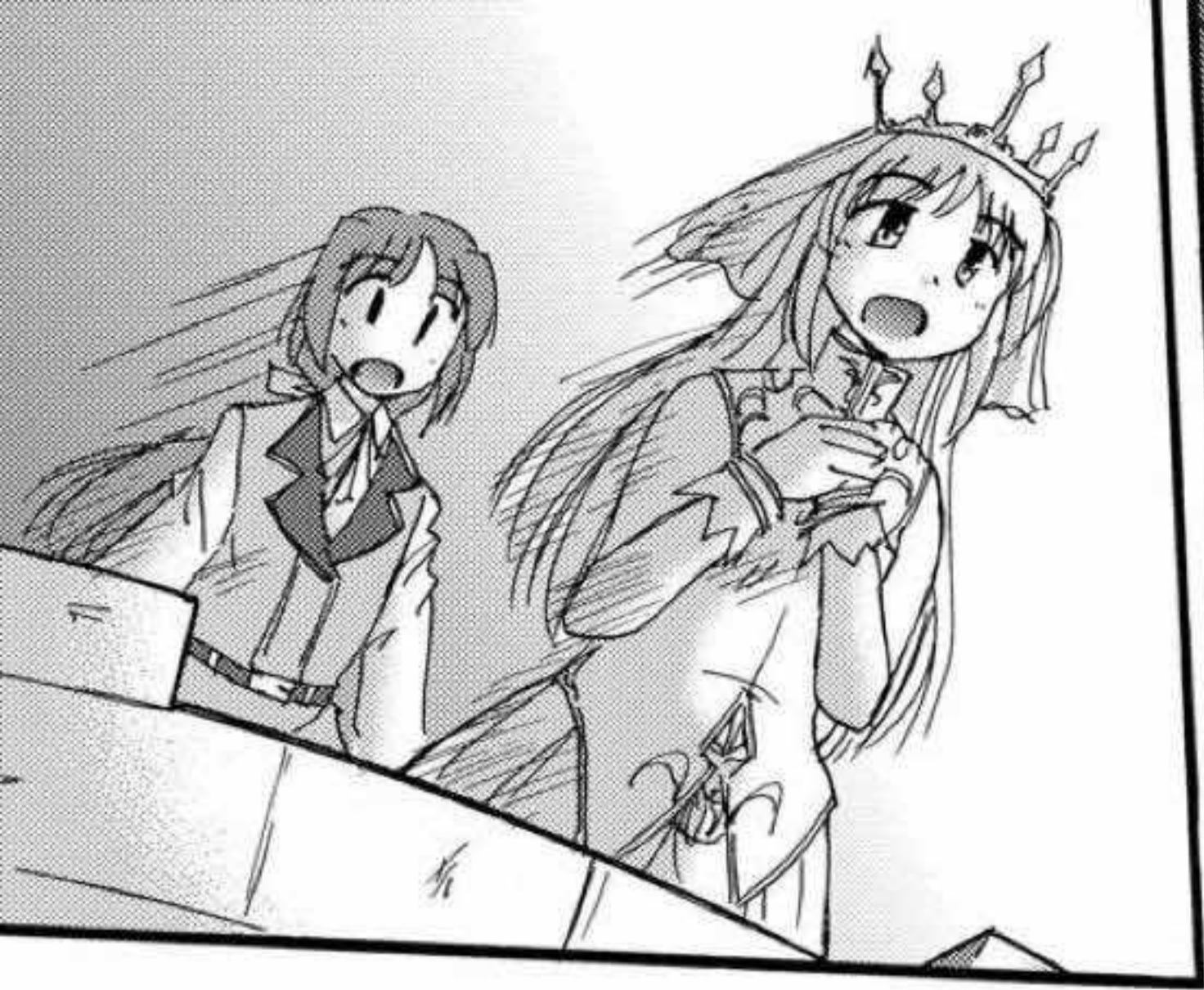
カイクムさん…

わたしは
あなたを
守りたいです！

駄目だティアッ
俺は今更そんな事
望んじやいない！

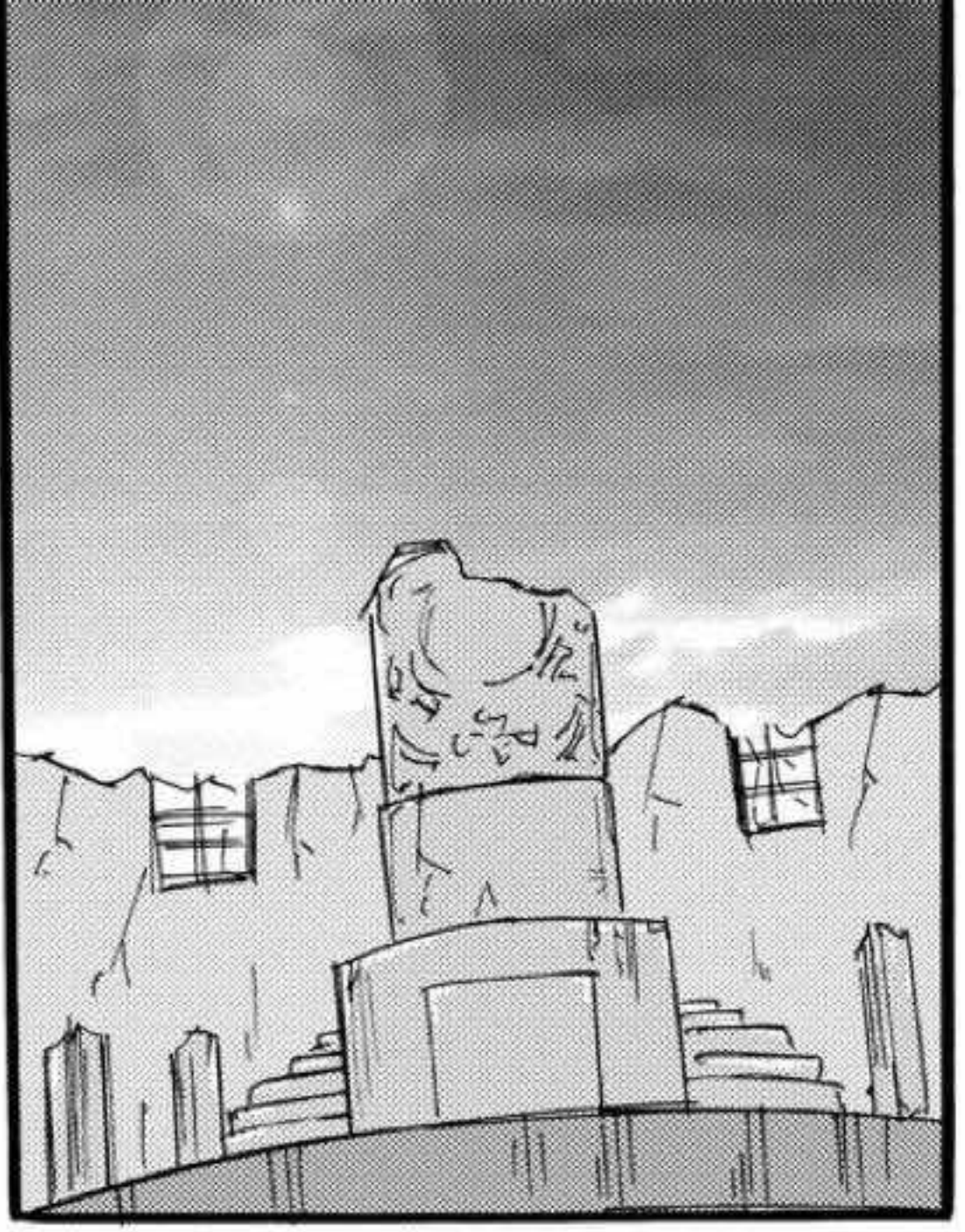
俺はただ
お前と一緒に
居たいだけなんだ！







ズワッ...フ...







だけど
カイクさんが
わたしの事を
諦めないでくれた
から



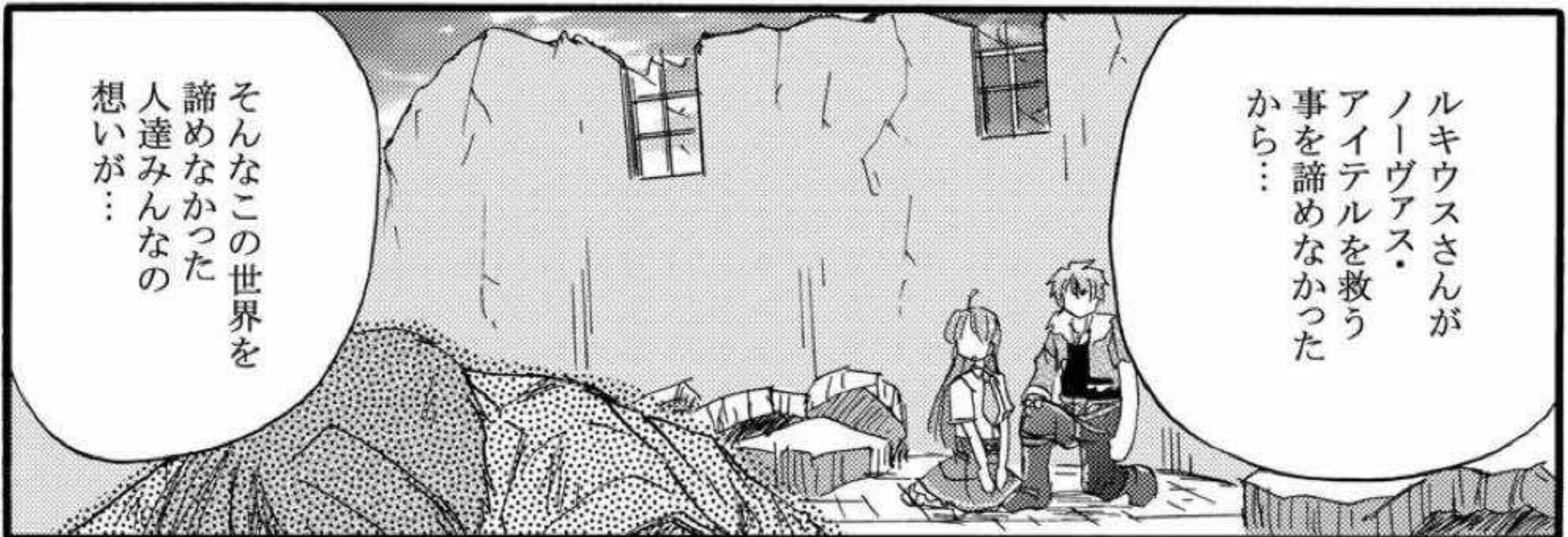
全く心配かけ
やがって…
あんな事言うから
俺はてつきり…

ごめんなさい
カイクさん
…



だけどわたしが
無事で済む
保証なんて
無かったから…

戻って来られるか
どうかは賭け
だったんです…



ルキウスさんが
ノーヴアス・
アイテルを救う
事を諦めなかつた
から…

そんなこの世界を
諦めなかつた
人達みんなの
思いが…



わたしの翼に
力を与えて
くれたって…

今はそう
思ってます！



「リシアルートまでが素晴らしい出来だったのでグランドフィナーレであるティアルートに期待に胸を膨らませつつプレイしたら見たくない物を散々見せられたあげくにティア消滅というエンディングを見せられ最悪の気分にはさせられた皆さんごきげんよう、涼宮和貴です。」

というのが「穢翼のユースティア」に対する私の嘘偽りのない感想です。
どれくらい最悪かというとそのままアンインストールしてソフト売りに行こうか真剣に悩んだくらい。

ただリシアルートまでは本当に面白くてグラフィックなどもものすごく頑張っていてそれだけで全てを無かったことにしてしまうのはあまりにもあんまりだし「コレを何とかしないと俺がオーガスト同人やってきた意味なんて何も無くなっちゃうよっ」と思い直してこの本が出るに至った訳です。

そもそもプレイ前から「ティアが命と引き替えに世界を救う」と言う展開は真っ先に予想が付いて他のメーカーならともかくオーガスト的にこれはやって欲しくないと思っていた事でした。百歩譲ってその展開がアリだったとしてもせめて感動で泣かせて欲しかったなと。

この話をしている良く引き合いに出されるのが同じように主人公が自分と引き替えに世界のシステムをぶち壊した「魔法少女まどか☆マギカ」な訳ですがアレは大好きでBDも買っていたりします。じゃあ「穢翼のユースティア」と何が違うかって言うと

「ほむほむは超頑張ったけどカイクさんは寝てただけ」

と言うところですね。最後にカイクさんがティアを選んだように見えるけど完全にチェックメイトで終わってる所にエリスが「こっちに置いたら良かったんじゃない？」って言っただけの話なのでもう遅いです終わってます。結局の所カイクとティアは心の深いところでは繋がってないんですよ。

と言う訳でティアを連れ出す最後のチャンスだったと思われる初Hのシーンからオリジナルの話を展開させてみました。全てを回収するのは無理なので細かいところは無視して見せたいシーンに持っていくように描いています。

コレを描いてどうにかなる訳でもないけど自分と同じような思いをした人の気持ちが少しでも晴れればと思います。ぶっちゃけ制作陣にもそう言う人が…ケフンケフン。まあそれは言わない方が良いでしょう。

あとどうしてもカイクさんに目がいきがちですけどティアも「穢翼のユースティア」を語る為のアイテムとして用意されてしまっているのほぼ全てにおいて受け身だったのも良くないなと。その辺は人気投票でトップ争いに絡めなかった辺りに出ていますよね。可愛いし良い娘だけど世界を救うには荷が重すぎて自分が消えるしかなかったのかなー。と思うと不憫で何とかしてやりたくありません？

そう言えばこのマンガのリシアはちゃんと生きてますからねっ。
ついでにシスティナも生き残りです(笑)。

他のルートの感想はまた機会があればと言うことで。
ホントにリシアルートは面白かった。メルトダウンが回避出来ないのが口惜しいがっ。
ラヴィリア&コレットも良かった。最後二人とも助かってホントに良かった。
ところで最初に辿り着いたエンディングはラヴィでした。ここに引っかかる人は結構多かったようです。
あまりの突然の展開にマジびびった。カイクさん超別人になるし(笑)。

結局一番好きなキャラはアイリスのままでした。次はカイクさんがアイリスを身請けして超可愛がる話を描きたいと思います。オンリーか冬かどっちかです。アイリスが好きすぎて生辛。

最後に私の言葉ではないけど「穢翼のユースティア」に向けたもっともふさわしいと思われる言葉を

「大好きだけど、大嫌い。」

それではまた。

2011/8/14 涼宮和貴

SPECIAL THANKS TO

ういんぐ
えんどー
近江千竜
永倉大
ふあな
もりたとおる
(敬称略)



LIFT THE WINGS

発行 Cool Palace
発行人 涼宮和貴
発行日 2011年8月14日
印刷 (株) 緑陽社 様
URL : <http://www114.sakura.ne.jp/~suzumiya/>
E:mail : suzumiya@www114.sakura.ne.jp

※本書の18歳未満の方の購読及び
営利目的の転売、転載等を禁じます。



機翼のユースティア FANBOOK

LIFT THE WINGS

Cool Palace August 2011

